



令和 6年 6月発行
中濃県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当:塚原
TEL: 0575-33-4011 (内線210)

子育て講演会

～やる気スイッチ、入れるも切るも、親の言葉ひとつ!～

美濃市立美濃中学校では、家庭教育学級の運営を今年度よりPTA本部役員会が主体となっ
て行っています。

今回は、5月25日(土)に開催された子育て講演会の様子をご紹介します。

家庭教育学級の取組紹介 ～美濃中学校PTA～

【開催の目的】

新学期が始まりましたが、新しい環境の中で子どもたちの心は、まだまだ不安定な時期です。
こんな時に、親としてできることは何だろうか、適切な言葉かけができないだろうか・・・親
としての言動を客観的に考えるために、今回の講演会を計画しました。

講師は、10年前に講話を聴いてとても感動した、九州にお住まいの園元恭子先生にお願いし
ました。

また、多くの方に学んでいただくことで美濃市全体の子育ての力が向上していくことを願っ
て、本校だけではなく他校の保護者にも参加を呼びかけました。

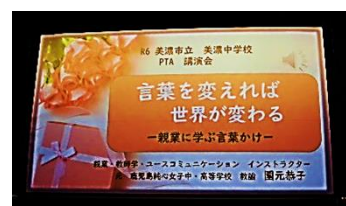
【講演会の概要】

- <開催日> 令和6年5月25日(土)
<講 師> 鹿児島純心女子中・高等学校
元教諭 園元 恭子 氏
<講演名> 「言葉を変えれば、世界が変わる」
～親業に学ぶ言葉かけ～



<講演内容>

- 1 言葉とは・・・人間に与えられた素晴らしい力。言葉には力がある。言葉ひとつで、子ども
のやる気スイッチを入れることも切ってしまうこともできる。
- 2 キーワードは「気持ちの言語化」
 - ・「えらいね」は、評価を気にする子どもに育つ。
 - ・「嬉しい」は、人を喜ばせることを学ぶ子どもに育つ。
- 3 子どもの自己解決能力を信じて聴く。(子どもが話すように聴く)



【講演会(ペア交流)の様子】



当日の講演会では、参加者が2人1組になって「聞き方」「話し方」の実践も行われました。話す側や聞く側のコミュニケーションにおいて、「いつ話すのか」「いつ聞くのか」のタイミングも大切です。また、学校や家庭内で困ったことが起きてしまった時には、子どもの自尊心を傷つけず、親の率直な気持ちを伝える工夫をすることも必要だと感じました。

【参加者の感想】

- ・具体的なお話でとてもわかりやすく、子どもとの向き合い方の参考になりました。すぐにでもやってみたいことばかりでした。
- ・「怒りで叱ることは意味を持たない」は、とても納得できました。同じ目線で日々の事柄を共有できる人が身近にいてほしいと感じました。
- ・とても心を揺さぶられ、涙が出ました。子育ての尊さを実感できるひとときでした。こんな思いをもっと多くの保護者の方々にぜひ、味わっていただきたいと思いました。

【主催者の感想】

講師の先生からは、受講者の皆さんが熱心に受講され、反応がとても良かったとお聞きしました。

今回の催しは運営側の人数を極力減らし、学校やPTA 役員の負担がないように工夫して開催することができました。

今後は、PTA 会員のニーズをふまえた取組を企画し、多くの方々に参加していただけるようにしたいと思います。

【取材を終えて】

「この講師の話を、広く皆さんに聴いてもらいたい」というPTA 会長の強い願いがあったからこそ実現した、聴き応えのある内容の講演会でした。

「今後も、PTA 本部役員会が主体となって、様々なテーマや内容で研修会を続けていきたいと思います。」

PTA 会長の言葉をととても力強く感じました。